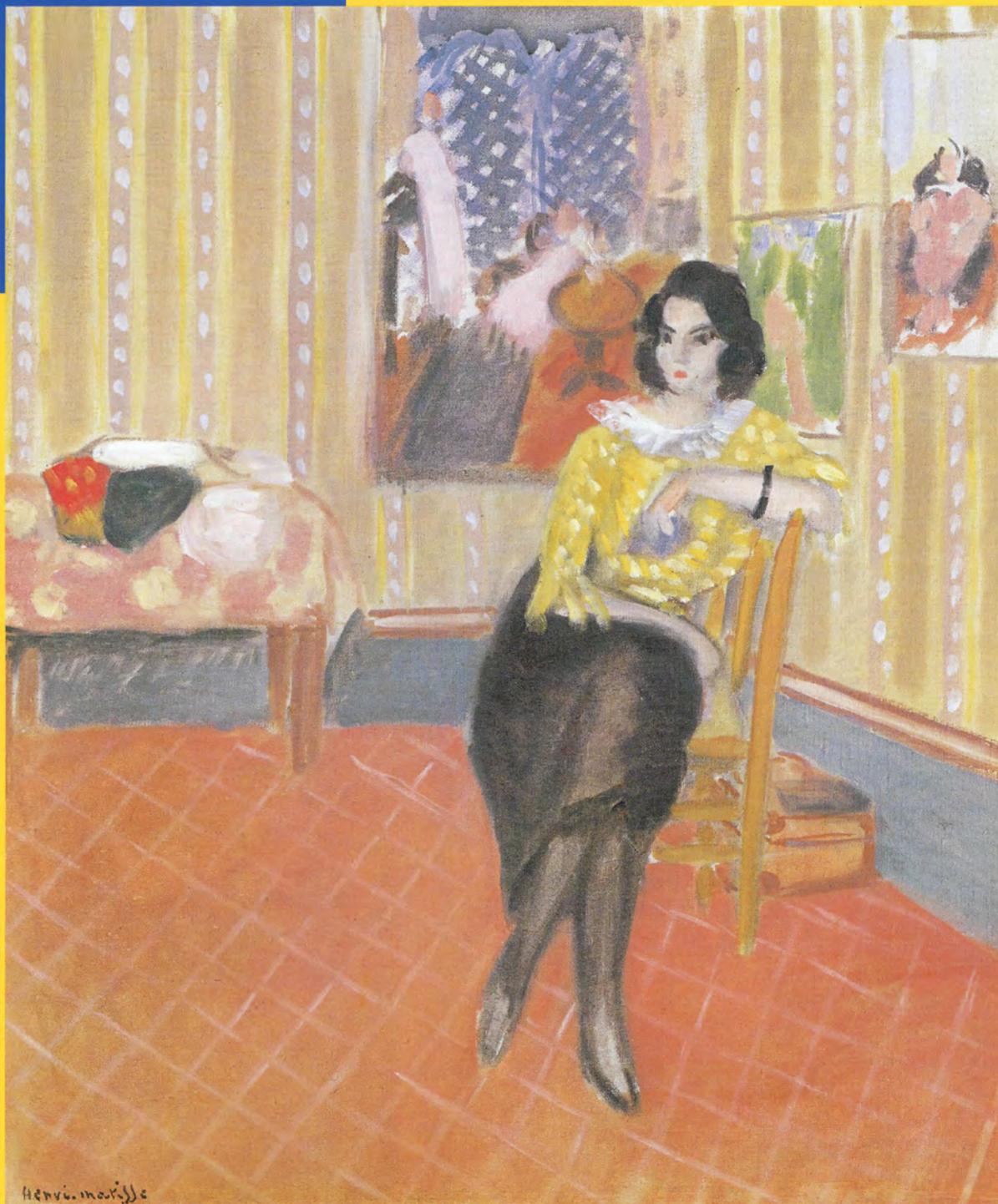


Matisse



Henri Matisse
《腰掛ける若い女》1921年頃 ナンシー美術館 ©Succession H.Matisse, Paris&BCF, Tokyo, 2000 Cliché G. Mangin

Henri Matisse Matisse et ses modèles

マティスとモデルたち展

2001年1月12日(金) - 2月12日(月祝)

休館日:月曜日(ただし2月12日(月・祝)は開館)
開館時間:火・水・木曜日(9時から18時まで) 金曜日(9時から19時まで)
土・日曜日・祝日(9時から17時まで)
入室はいつでも閉館30分前まで/初日は午前10時開展式

入場料:一般1,000円(800円) 高・大生600円(480円) 小・中生300円(240円)
※()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
※65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳
または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
※第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 電話087-823-1711

主催:高松市美術館 / 四国新聞社 / 西日本放送
後援:フランス大使館
協力:エールフランス航空 AIR FRANCE

マティスと モデルたち展

ピカソとともに20世紀美術を代表する画家、アンリ・マティス(1869-1954)。その表現スタイルは60年におよぶ画業において絶えず変化しつづけました。色彩を対象の再現から解放した色彩革命、フォーヴィスム。写実的な筆致で南仏の明るい光の下のオダリスクたちを描いた1920年代。切り紙絵によって楽園空間を創出させた輝かしい晩年。つねに新たな表現の可能性を模索し前進しつづけたマティスでしたが、彼がいつの時代も最大の関心をもって制作に挑んだのは、人物像でした。画家は、家族や知人、それにお気に入りのモデルたちから得たインスピレーションをもとに、さまざまな造形上の実験を盛りこみながら、多くの優れた人物像を残しました。

本展では、欧米・日本の美術館・個人コレクションによる油彩、素描、版画、写真、あわせて約60点により、マティスの描いた人物像の魅力を紹介します。

ギャラリートーク(展示解説)

■担当学芸員によるギャラリートーク

1月13日(土)、20日(土)午後2時~
2階展示室にて

■美術館ボランティアcivi(シヴィ)による ギャラリートーク

毎日曜日および祝日(1月14日、21日、28日、
2月4日、11日、12日)午前11時~午後2時
~(1日2回)
2階展示室にて

常設展のお知らせ

■第5期常設展

1月13日(土)~3月25日(日)
マティスとモデルたち展のチケットでご覧いただけます。

次回催し物のお知らせ

■高松市美術館コレクション展

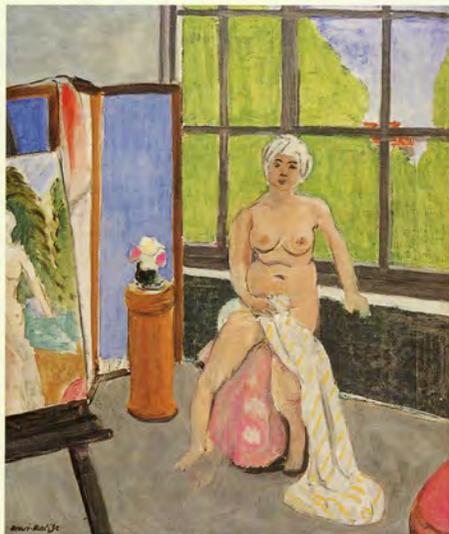
3月9日(金)~25日(日)



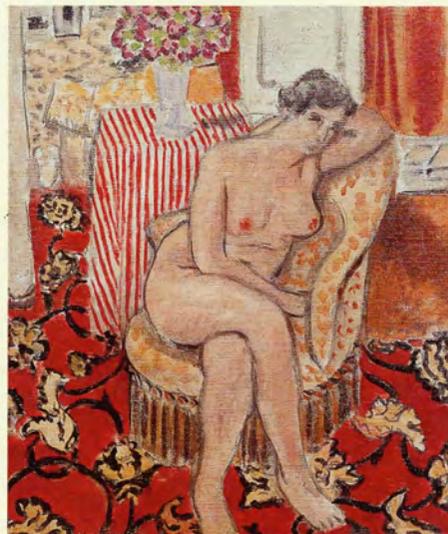
交通のご案内

JR 四国-JR高松駅下車、徒歩15分
琴平電鉄-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場-美術館地下に公営駐車場
(有料、乗用車144台収容)

Henri Matisse Matisse et ses modèles



《アトリエの裸婦》1920年 ルーマニア国立美術館
Muzeul Național de Artă al României,
Muzeul Colectiilor de Artă, Colectia K.H.Zambaccian



《肘掛け椅子の裸婦》1918-20年頃 川村記念美術館



《ラ・フランス》1939年 ひろしま美術館



《木蓮とオダリスク》1923年 ロサンゼルス・カウンティ美術館
Photograph ©2000 Museum Associates/LACMA



《イダの肖像》1948年 個人蔵



《眠る男》1936年 個人蔵



《イダ・シャガールの肖像-とがった顔》
1948年 個人蔵



《ダンス》1935-36年 横浜美術館